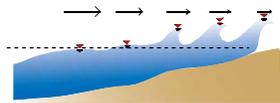


# 西予市 津波危険マップ <全域版>

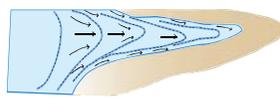
地震を感じなくても津波が来ることがあるので、津波警報などが出されたら海岸付近では十分な注意が必要です。警報がなくても大きな揺れを感じたらすぐ海岸から離れましょう。

## 津波の高さ

水深が浅くなると、津波は速度を落とし、その分波高が急激に高くなります。さらに、遠浅の海岸では、段波状になったり、V字型の湾では、波高が急激に高くなったりします。また、湾内で共振して、波高が増幅して高くなることもあります。



水深が浅くなると津波の速さが遅くなり、後ろからの波が覆い被さるようになります。



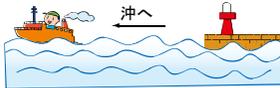
## 津波の周期

津波の周期は、約10~30分(台風時の高潮はせいぜい数10秒)と非常に長く、少しでも開口部があれば、そこから広く浸水し、被害を拡大させることになります。



## 津波の波長

津波の波長は、約10kmと非常に長いので、沖合では津波を感じられないこともあります。水深が50m以上ある海域では、船舶への被害が少ないため、時間的な余裕さえあれば、船舶の沖出しも可能です。



## 安全避難のポイント8か条

- ①避難する前に、もう一度火元を確認する(ガスは元栓を締め、ブレーカーも切る)。
- ②家には避難先や安否情報を記したメモを残す。
- ③各自が防災カードを持ち、荷物は必要最小限にする。(※氏名・住所・血液型等を記入したカードを作成しておきましょう！)
- ④ヘルメット(防災ずきん)で頭を保護し、長袖・長ズボンなどの安全な服を着用する。
- ⑤基本は徒歩で避難する。車は交通渋滞となり避難に支障をきたす。
- ⑥お年寄りや子どもには声をかけ、手をしっかり握る(乳児は背負う)。
- ⑦狭い道、川べり、堀や自動販売機のそば、ガラスや看板の多い場所を避けて避難する。
- ⑧できるだけ集団で指定された避難場所へ避難する。

